



長年の行政相談業務に表彰

総務大臣表彰を受賞 河野忠良さん(73)=宮守町宮守=

行政相談委員として活動している、旧宮守村地域担当の河野忠良さんが、総務大臣賞を受賞しました。平成15年から長年にわたって、市民の皆さまからの行政に対する意見や要望などを

受け、その解決に努めてきました。河野さんは「これからも相談者が安心して暮らしていけるよう、親身になって相談業務にあたっていきたい」と意欲を示していました。



遠野自働のビールです!

インターナショナルビアカップ2015(国際ビール大会)

「遠野麦酒ZUMONA」ヴァイツェン 最高賞の金賞を受賞!

上閉伊酒造株式会社 製造責任者 坪井大亮さん(35)

受賞した『遠野麦酒 ZUMONA』ヴァイツェン▶



9月19・20日の両日、神奈川県横浜市で開催されたインターナショナルビアカップ2015(国際ビール大会)で、上閉伊酒造株式会社が製造・販売している『遠野麦酒ZUMONA』のヴァイツェンが、最高賞の金賞に輝きました。同大会は、日本のビールはもちろん、海外で製造されている世界のビールを審査するもの。審査では、香りや色、泡立ちなどのすべての項目で高得点を獲得しました。受賞したビールは、遠野産ホップをふんだんに使用し、小麦独特の風味と酸味、清

涼感のあるフルーティーな味わいが特徴。12年前から製造責任者を務める坪井さんが徹底的に技術を磨き、丹精込め作り上げています。坪井さんは「お客様に満足していただけるビールを提供するため、原料の配合などを調整し、研究し続けてきました。これからも、お客様に遠野の地ビールZUMONAを手にとっていただけるよう、ビールづくりに精進していきたい」と意気込みを熱く語りました。

地域の安全・安心を守る

防犯栄誉銅章を受章

菊池昭夫さん(58)=小友町=

昭和55年から同町防犯協会に所属し、現在まで通算35年、防犯パトロールをするなど地域の安全・安心を守ってきました。平成18年4月からは同町防犯協会長に就任。パトロール車の目

印とされる青色回転灯を自己所有車両に装備し、防犯活動に尽力してきました。菊池さんは「受章は、地域の皆さんの協力のたまもの。今後も率先して活動していきたい」と話していました。



防犯にご協力を!

47年にわたり遠野駅を花で彩る

JR東日本社長表彰

華道教室小原流麗華会 同会代表 多田禮子さん(83)



昭和43年から現在まで、47年間にわたり、遠野駅の待合室に生け花を飾り、駅の美化活動にあたってきました。多田さんは「これからは駅利用者喜んでいただけるよう、きれいな花を飾っていききたい」と誓いました。

第11回県高齢者交通安全自転車大会

一致団結で優勝掴む

市交通安全協会鱒沢分会チーム 左から/佐藤秀夫さん(67)、浅倉利一さん(68)、多田良作さん(75)



9月19日、県警察学校体育館で行われた同大会で鱒沢分会チームが見事優勝しました。同チーム代表の多田さんは「交通マナーを身に付け、高齢者の自転車運転の事故防止につなげていきたい」と話しました。

第17回商工会女性部全国大会

まちづくりに顕彰状

遠野商工会女性部 左から/遠野商工会会長 佐々木弘志さん(68)、遠野商工会女性部長 松田和子さん(73)



町家のひなまつりやみずきびなの普及・促進、花いっぱい運動など、まちづくりへの取り組みが評価されました。松田さんは「皆さんに楽しんでいただけるような催しを今後も企画していきたい」と意気込みました。

第59回県畜産共進会(ホルスタイン種の部)

名誉賞・準名誉賞に輝く

佐野茂樹さん(49)=上郷町=



▲名誉賞・優等賞を獲得した『プロスペリー・ハーバード・ゴールド・ラッキー号』



これから頑張ります!

9月25日に開催された「第59回県畜産共進会(ホルスタイン種の部)」で、佐野さんのプロスペリー・ハーバード・ゴールド・ラッキー号が名誉賞を、プロスペリー・アドVENT・ラッキー・ハーダム号が準名誉賞の栄冠を掴みました。名誉賞を受賞した牛は、発育に優れ、身体全体のバランスが優れている点で高評価を獲得。準名誉賞の牛は、乳房の幅や高さなどが評価されました。これらの牛は、10月23~26日にかけて行われた「第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」に出品。プロスペリー・ハーバード・ゴールド・ラッキー号が優等賞4席に輝きました。佐野さんは「全国大会を目標に、牛のトレーニングなどに励んでいきたい。今後も遠野から、全国に通用する牛を育てていきたい」と誓いました。

第3回全国小学生一輪車大会

念願の全国初優勝!

遠野一輪車クラブ少年団小学4年生ペア 千田玲那さん(遠野北小)、菊池紗樺さん(小友小)◎

「第3回全国小学生一輪車大会」は9月20日、福島県須賀川市で行われ、遠野一輪車クラブスポーツ少年団の千田玲那さん、菊池紗樺さんペアが、同クラブ創設以来、初の全国優勝を果たしました。大会では、技術力や表現力、作品の完成度などすべての審査項目で最高得点を獲得。「ノミスの演技をする」という2人の目標を達成し、全国優勝の栄光を手に入れました。千田さんは「先輩の技術を見て学び、本番では練習通りに披露することができました」と喜び、菊池さんは「これからはたくさん練習して、いい演技がしたい」と意気込みました。また、同大会のグループ演技(11人以下)では、同クラブチームの「Amuse!」が4位入賞に輝きました。



応援してね!

「遠野一輪車クラブ発表会」開催!

団員の華やかな演技をぜひ、ご覧ください。 ※入場無料
★日時 12月6日(日)、13時半~
★場所 市民センター体育館
★問い合わせ 遠野一輪車クラブスポーツ少年団 ☎090-2270-4538

市長ひとこと 明解・地道

本年12月5日、復興支援道路として、東北横断自動車道釜石秋田線の宮守―遠野間が開通します。思い起こせば12年前、計画そのものが白紙に戻る事態がありました。また、日本道路公団(当時)の事業として整備するの、県の費用負担を伴う国の事業として整備するのかという、厳しい選択が突きつけられておりました。当時の増田寛也県知事の判断は明解でした。「本田さん、県も負担しますから、地域にとって良い道路を造りましょう!」。

平成24年には、地域の悲願である、国道340号・立丸峠のトンネル化が決定されました。その後の会合で、元川井村長の道又邦彦さんは、目に涙を浮かべて絶句しました。関係者全員で感動したことも思い出されます。

道路は、地域住民の安全と安心、そして命を守る大切な存在です。地域を元気にするネットワークでもあります。明解な判断と地道な活動が、いよいよ形になって見えてきました。

遠野市長 本田敏秋